

東日本大震災 消防署所の活動及び被害状況に係る調査票  
 (死者・行方不明者が発生した太平洋に面した消防本部を対象)

調査日：平成 23 年 4 月 21 日

消防本部名	塩釜地区消防事務組合消防本部	構成職員数	226 名(H21 版消防年報より)
構成市町村	塩釜市、多賀城市、松島町、七ヶ浜町、利府町	構成署所数	5 消防署 1 出張所
調査庁舎名	松島消防署	庁舎職員数	24 名(H21 版消防年報より)

調査対象の消防署所位置



○庁舎全景

<p>庁舎の写真(1)</p>	<p>庁舎の写真(2)</p>
<p>庁舎全景 特に被害は見られない</p>	<p>車庫内の車両 前面地盤は沈下</p>

庁舎の写真(3)



庁舎側面 手前は高城川から分かれた水路

庁舎の写真(4)



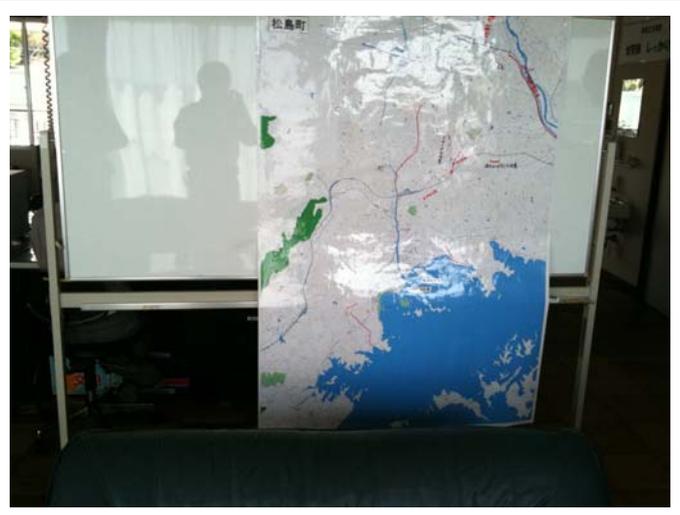
庁舎背面

庁舎内の様子(1)



署内の活動の様子

庁舎内の様子(2)



被害状況地図

○庁舎周辺の様子

庁舎周辺の写真(1)



庁舎正面の道路 左は高城川

庁舎周辺の写真(2)



庁舎正面の道路 庁舎敷地と道路の間に水路がある

庁舎周辺の写真(3)



庁舎周囲の地盤が沈下

庁舎周辺の写真(4)



庁舎裏手の道路

○周辺の被害の様子

周辺の被害の様子(1)



湾内から遡上し漂着した浮きドック 署前高城川

周辺の被害の様子(2)



消防団員が手分けして閉鎖した防潮扉

周辺の被害の様子(3)



陸前富山駅付近

周辺の被害の様子(4)



危険と判定された家屋(陸前富山駅付近)

その他、特筆すべき事項

津波警報発令時、既定計画により総合センターに移動した（現在は署に戻っている）。

庁舎耐震対策済み。敷地内地盤沈下による亀裂多数。

大潮による浸水予想危険 5 ヲ所

非常電源は庁舎施設 100 パーセントカバー、給油は隣りの GS で可。

他県応援は長野県、岡山県。救急が 4 件ほど塩釜の常駐場所から出場。

当番員 7 名 2 交替、ポンプ車 2、救急車 1、はしご車 1 で運用。

以上